
日記

彩乃

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日記

【Nコード】

N5017C

【作者名】

彩乃

【あらすじ】

小説では無いんです。日記みたいに書いてみました以前投稿していたものです

私は灰原哀

博士の家で居候しているわ。

なんで居候しているのか？

それは秘密よ…。

人には誰にも言えないこと

言いたくないことがあるのよ。

人は誰にも言えない秘密を

文章にして書くわ・・・

たとえば日記だとか…………。

とりあえず私は毎日日記をつけているわ。

日記の中身は1日の出来事についてよ。

みんなには日記を見せていないわ。

だいたいいつもと同じことばかり書いてあるわ…。

今日の日記は書き終わった・・・

今は、夜中の3時

疲れたわね……

どうりで眠いわけだ

いろいろと大変だわ。

パソコンをうつたり、

少年探偵団の彼らとの遊びに誘われたりしてさ

それでもって毎日日記を書くのは

疲れるわ……………

まあその他にもいろんなことが

身のまわりで起きているわね。

こんな疲れるだけの日記をなぜ書いているのか？

それは私の日々の生活を確かめるために

決まっているじゃない…

私が無意識にやっている行動が

人を傷つけることがあるから…

知らない間に誰かを傷つけているかもしれないわ…。

私は毎日日記を書くことで

自分の悪いと思うところを直していききたいと思うの・・・

まず工藤君や蘭さんには

悪いことをしてしまったわね……

工藤君にはA P X T 4 8 6 9で幼児化させてしまったこと

蘭さんには愛しい彼（工藤君）をずっと待たせさせてしまったわ。

それは私がA P X T 4 8 6 9を作らなければ

工藤君は幼児化なんてしなかった・・・

あなたは工藤君が幼児化して

江戸川コナン君になってしまったこと

知らないから・・・

工藤君のことずっと待っていたんだよね。

私は日記を抱きかかえる。

そして眠りについた。

夢の中

く私の今日の日記く

朝、6時から朝食の準備

博士は、

『哀君、肉料理食べたいんじゃないが。』

なんでそんなにも肉料理が食べたいのかしら

私は、『嫌よ……』

即答で返した。

博士は肉の食べすぎで野菜は不足しているのよ…。

肉料理なんて一生食べれないと思いなさい！

意地を張って肉料理を作らず野菜だらけの料理を作ったわ。

博士はしぶしぶ野菜料理を食べていたわ。

コソツとつまみ食いをしようとしていただけ

『博士、これ以上つまみ食いは体に悪いわよ！』

なんて脅せば博士は慌てつまみ食いをやめたわ…

朝食の時間は愉快ー愉快

おもしろかったわ。

朝食後は少年探偵団の彼らが来た

小嶋君は空き缶をもっていた。

「缶けりやろうぜ！」

なあんて唐突に言ったわ。

小嶋君は、元気いっぱいいいわね。

一応私十八歳なのよ……

その年で缶けりなんてやってらんないわ

工藤君なんて缶けりやるって聞いただけで青ざめているわ

『ガキみてえなことやってられるか!!』

彼はそんなこと言っているけど

今はあなたも中身は違っても見た目はガキよ……

そう言いたいわね。

少年探偵団の彼らと一日中缶けりをやらされて本当に疲れたわ

その後夕食を作ったわ。

もちろん朝と同じ野菜料理

博士はまたしぶしぶ食べていたわ。

またまたおもしろかった。

夕食後はずっとパソコンをうっていた

夜中までね…

パソコンをうち終えたらすぐに

パソコンを消した。

これがだいたい今日一日の出来事

今日はとりあえず何もない一日だったわ。

でもこれから先は何かあるかも知れない

だから明日も日記を書く。

今私は、パソコンを目の前にして

明日のために寝ているわ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5017c/>

日記

2010年11月1日20時41分発行